

もうひとつの美術館・開館10周年記念
サマーフォーラム2011・スペシャルトーク

アート、インサイド、アウトサイド?

アウトサイダーアート/アールブリュットとは、美術の専門的教育を受けていない人が、伝統や流行などに左右されずに自身の内側から湧き出る衝動のまま表現した芸術のことを指します。近年、その魅力に注目が集まり、公的な美術館での展覧会も多く開催されるようになりました。また、昨年パリ市立アルサンピエール美術館が企画開催した日本の作家による「アール・ブリュット・ジャポネ」展に多数の観客が詰めかけ、大好評を博したのも記憶に新しいところです。

もうひとつの美術館は、アウトサイダーアート/アールブリュットを主要なテーマとして扱う国内で最初の美術館として2001年に開設され、今年で10周年を迎えます。それを記念するサマーフォーラム2011では、スペシャルトークとして、日本でのアウトサイダーアート/アールブリュットについてそれぞれの立場で発言されて来た精神科医で評論家の齋藤環氏と兵庫県立美術館学芸員の服部正氏をお招きし、アウトサイダーアート/アールブリュットのいまについて語っていただきます。

齋藤 環 (精神科医/評論家)

1961年生まれ。岩手県出身。筑波大学医学研究科博士課程修了。医学博士。現職は、爽風会佐々木病院・診療部長。専門は思春期・青年期の精神病理学、病跡学、ラカンの精神分析、「ひきこもり」問題の治療・支援ならびに啓蒙活動。文学、映画、美術、漫画など幅広いジャンルで批評活動を展開。著書に「戦闘美少女の精神分析」など多数

服部 正 (兵庫県立美術館学芸員)

1967年兵庫県生まれ。大阪大学大学院文学研究科西洋美術史学専攻修士課程修了。1995年より現職。アウトサイダー・アートや日本の障害者アートを取り巻く状況などを専門分野として活動を行う。著書に『アウトサイダー・アート - 現代美術が忘れた「芸術」』(2003年光文社新書)

コーディネーター・司会：梶原良成 (建築家/宇都宮大学教育学部教授)

日時：8月6日 (土) 13:30-15:30

場所：もうひとつの美術館 カフェ&ギャラリー

予約受付中 (参加費：当日の展示入館料のみ)

栃木県那須郡那珂川町小口1181-2 | tel/fax 0287-92-8088 | mob@nactv.ne.jp

◆主催：NPO法人 もうひとつの美術館 ◆共催：那珂川町 那珂川町教育委員会 ◆後援：栃木県 栃木県教育委員会 下野新聞社 毎日新聞宇都宮支局 朝日新聞宇都宮総局 読売新聞社宇都宮支局 東京新聞宇都宮支局 NHK宇都宮放送局 とちぎテレビ 栃木放送 エフエム栃木 ◆助成：日本芸術文化振興基金